

ライフスタイルプランナー登録者アンケート調査結果

輸入住宅産業協議会 (IHIO) では1995年以来、豊かなライフスタイルの実現や美しい街並みの創造並びに健康を考えた性能等・・・真の豊かさを実現させるため輸入住宅の普及促進を通して日本の住宅の歴史を変えるための役割を担ってまいりました。特にLSP資格制度は、IHIOの今後の健全な普及発展のために大きな影響を与えます。

1 調査目的

輸入住宅産業協議会 (IHIO) が1998年度より実施してまいりましたLSP資格制度の登録者は、5000名を超えましたが、この資格取得者がIHIO会員企業の中で一巡したこともあり、伸び悩んでいる現状です。この調査はLSP登録者にLSP資格制度の現状や今後の方向性を尋ね、公的資格と同等の価値ある資格として認知度を高めることを目的とするものです。

2 調査対象

1999年第1回から2007年第15回LSP資格合格者までの当協議会認定校(専門学校等)のカリキュラム受験合格者は除くLSP資格登録者(約4300人)。

3 調査実施時期

平成19年10月10日～平成20年1月11日

4 対象及び範囲

平成19年10月1日現在IHIOに登録のあるLSP資格登録者。ダイレクトメール:東北200名、北海道150名、中国・四国150名、北陸信越中京250名、関西300名、Eメール:首都圏等950名以上2000名。

5 調査方法

LSP登録者の現住所に直接アンケート用紙と返信用封筒を入れ郵送およびEメールのある登録者にはEメールを併用した。

6 回収状況

対象者数 2000名 (認定校のカリキュラム受験合格登録者を除く)

回収率 10%

回答者男女比 男性:39.4%、女性:60.5% (不明0.1%)

1. 調査目的と回収結果

ライフスタイルプランナー(以降LSP)資格者の実態を把握し、今後の事業活動に参考にするため、LSP登録者アンケート調査を実施した。調査は全国の登録者2000名(東北200名、北海道150名、中国・四国150名、北陸信越中京250名、関西300名以上DM)、首都圏等950名(eメール)を対象に行ない回答数は、201件、回収率は、10%であった。調査回答者の男女比は、男性が39.4%、女性が60.5% (不明0.1%)であった。

2. 回答者属性

回答者の現在の就業業種は住宅建設業40%、住宅関連外無記載業種28%、設計業9%と続き、住宅関連業種に就業の数は約70%であった。

3. LSP資格取得の目的

職場や学校での回転が34%(第1位)と多く、続いて将来的視野を含め必要が30%、仕事が必要が20%、仕事に関係なく自分のスキルアップのためは、4位(14%)となっている。回答者の約70%が他の資格を取得しており、建築士、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーターと続いている。

4. この資格に必要なもの

問のこの資格に必要なもの10項目のうち圧倒的に資格の知名度が一位(38%)、続いて資格の権威(20%)が続いている。

5. LSP資格者の(例えばLSP研究会)活動について

ほとんど(90%近く)の人がIHOYデザインコンペ参加、地域定例会には、活動を知らないという理由で、係っていない。但し、イベントセミナー参加者は37%、メルマガ受信者は43%であった。

6.この資格が役立っているかについて

大変役立っているからどちらかという役立っているという役立っている系が23%、思ったより役立っていないのとの回答が、39%、全く役立っていないが34%その他が4%であった。

7. LSPの活動でセミナーや勉強会の開催について

セミナーや勉強会には都合がつけば参加したい(73%)、毎回参加したい(17%)、参加する意味がないが続いている。

8. 自立について

回答者の大多数(約90%)が、自立をしたいと答えている。

8 アンケート結果を受けての対応

1. LSP資格取得の目的
 職場や学校での斡旋第1位、続いて将来的視野を含め必要が2位、仕事が必要が3位、仕事に関係なく自分のスキルアップのためは、4位となっている。職場や学校での誘導的な力により取得したものが目立っている。自ら資格を取得しなくなるような仕組みづくりが必要である。

2. この資格に必要なもの
 回答は、圧倒的に資格の知名度が一位(38%)、続いて資格の権威(20%)が続いている。資格制度主催者は、知名度アップを行うための試行が大事である。

3. LSP資格者の(例えばLSP研究会)活動について
 活動を知らないという理由で、ほとんど(90%近く)の人がIHOYデザインコンペ参加、地域定例会には、係っていないことが分かった。但し、イベントセミナー参加者は37%、メルマガ受信者は43%であるため、多面的な告知を確実に行なえば活動参加者は 増加し、活動も活発化する。

4. この資格が役立っているかについて
 この資格が、あまり活用されていない事実から、本アンケートの数々の要望の実現化を計ることでLSP資格制度の発展に繋がるようにすることが必要である。

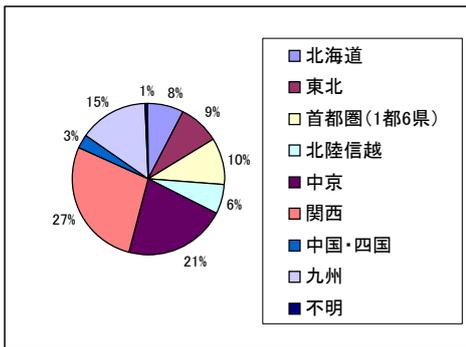
5. 自立について
 回答者の大多数が、自立をしたいと答えている。一般的に発展している資格制度は、公的資格のように自立後も十分活用できるという周知の事実から、今後のライフスタイル資格制度をさらに 発展させるべき新しい展開が求められている。

<LSP資格者アンケート調査項目>

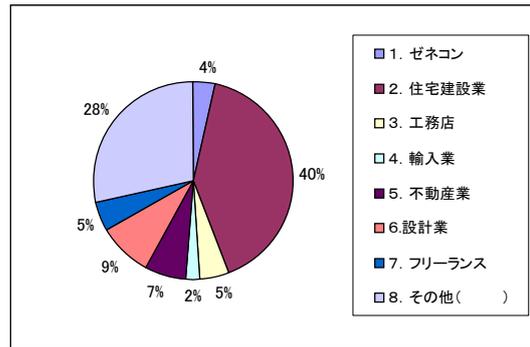
1. 回答者属性

添付資料

LSP登録者回答地域

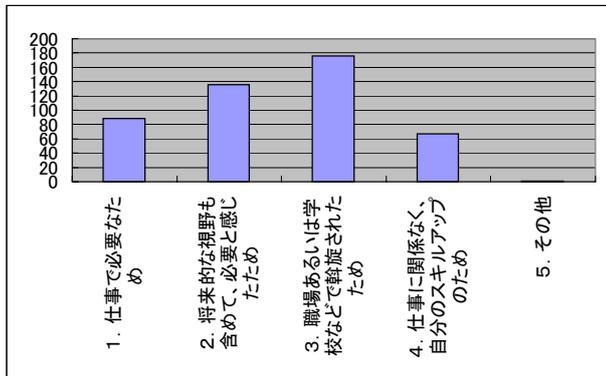


LSP登録者就業の業種



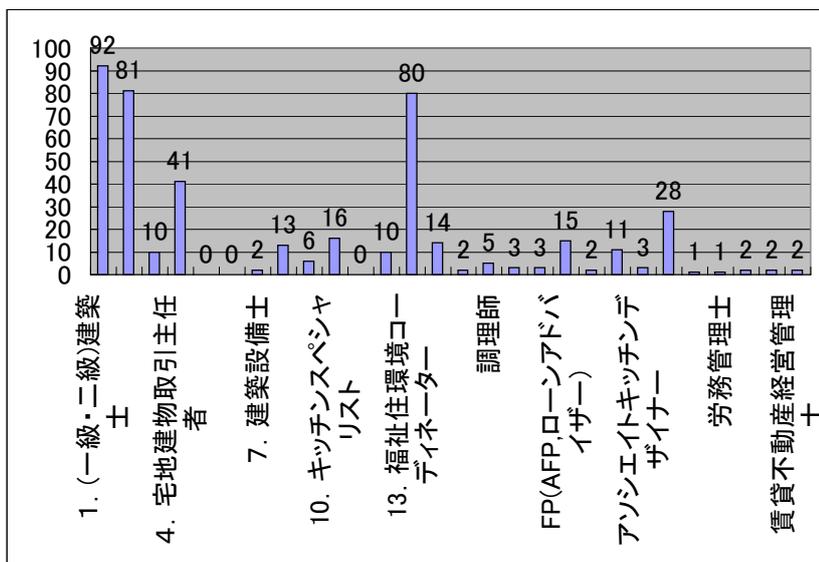
(問) LSP資格取得目的 (複数回答)

資格取得目的



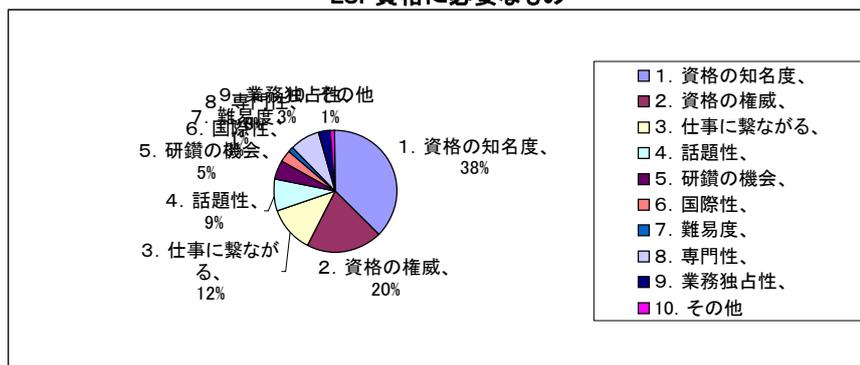
○ 他の資格を取得している方のみ回答。（複数回答）

他資格の取得資格



◎他の資格と比べLSP資格に特に必要なものは何か（複数回答）

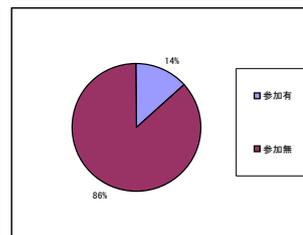
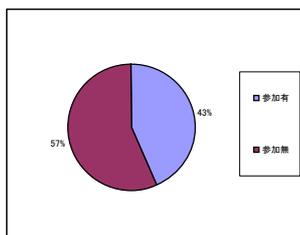
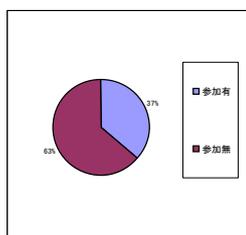
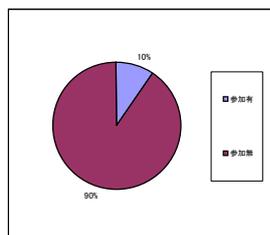
LSP資格に必要なもの



2. LSP資格制度の活動について

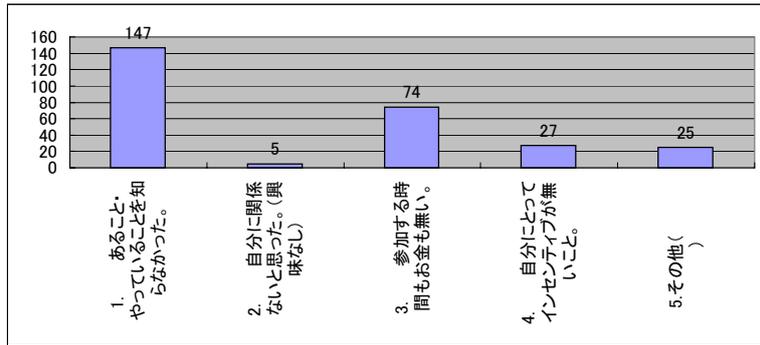
◎LSP資格制度の活動として全国各地にLSP研究会支部活動についての意見。回答者が関わったこと、また関わらなかった理由を選択。

IHOYデザインコンペ参加、 IHIO・LSP主催イベント・セミナー参加、メルマガ情報発信・受信参加、 地域定例会議参加



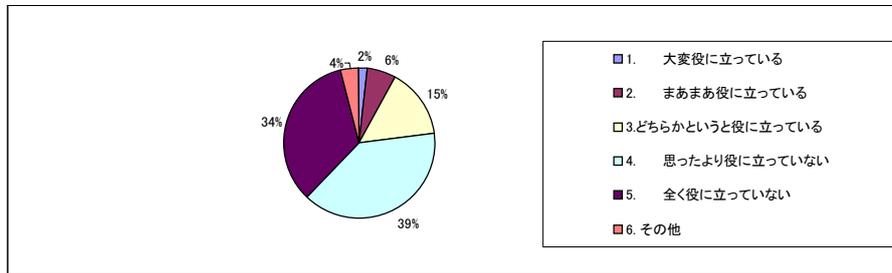
◎活動に係れなかった理由

活動に係れなかった理由



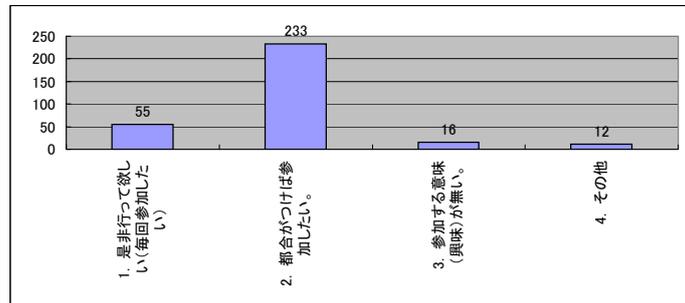
◎回答者のLSP資格役立ち度合い

LSP資格は役立っているか？



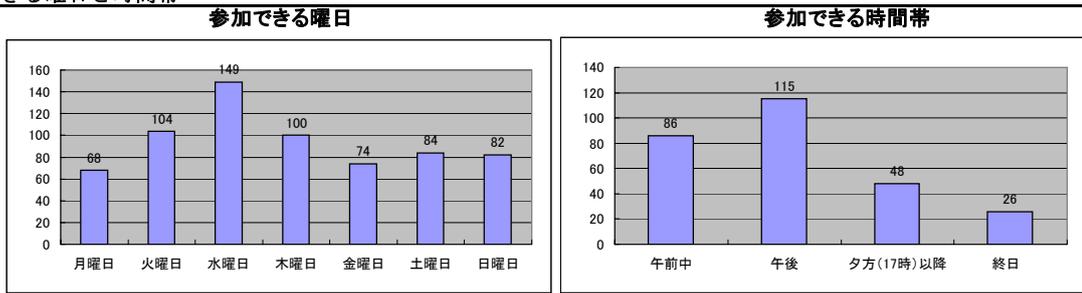
◎回答者の地域におけるセミナーや勉強会の開催について

セミナー勉強会の開催希望



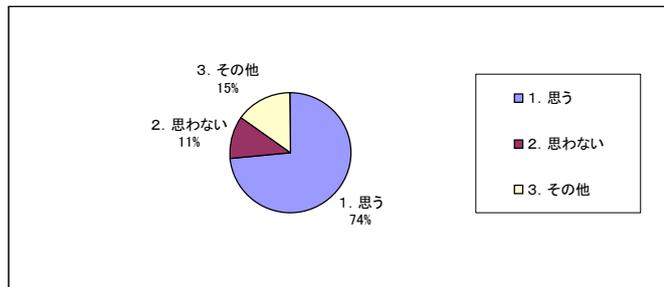
○前問で1, 2と回答された方

参加できる曜日と時間帯



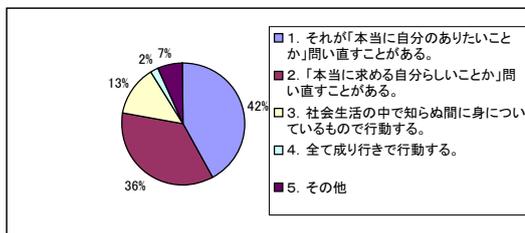
◎地域LSP研究会支部活動を活発化し、またLSP資格を仕事に活かしたいと思いますか？

地域LSP研究会支部活動を活発化とLSP資格を仕事に活かす希望



◎回答者の行動や価値観また感じ方・考え方について

行動や価値観また感じ方・考え方



自立したいか？

